

2010年度 新宿区多文化共生連絡会 第2回全体会 参加者一覧

2010年7月16日(金)

新宿区役所本庁舎6階 第三委員会室

No	所 属	氏名 (連絡先)
1	東京日本語ボランティアネットワーク	梶村 勝利
2	在日本韓国人連合会	李 承珉
3	明治大学国際日本学部教授	山脇 啓造
4	NPO みんなのおうち	小林 普子
5	プラザ相談員 (タイ語)	渡辺ナタニー
6	NPO 法人在日外国人情報センター	小池 昌
7	共住懇	山本 重幸
8	新宿虹の会	尾形 富美子
9	NPO 多文化共生センター東京	青木 智弘
10	NPO 法人難民支援協会	石井 宏明
11	東京中国人センター・プラザ相談員 (中国語)	山本 風彬
12	在日本韓国人連合会	李 孝烈
13	大久保いぶき町会	植木康次郎
14	新大久保商店街振興組合	諏訪 信雄
15	(財)新宿未来創造財団 主幹	藤巻 功太郎
16	(財)新宿未来創造財団	畑山 好信
17	新宿区 文化観光国際課長	山田 秀之
18	新宿区 多文化共生担当副参事	月橋 達夫
19	新宿区 しんじゅく多文化共生プラザ所長	宮端 啓介
20	新宿区 文化観光国際課係長	磯野 義裕
21	新宿区 文化観光国際課主査	小滝 靖
22	新宿区 文化観光国際課主事	青江 和
23	新宿区 文化観光国際課	柏木 弘道

新宿区多文化共生連絡会 会議要旨

日時 : 平成22年7月16日(金) 18時から20時
会場 : 新宿区役所本庁舎6階 第三委員会室
参加者 : 27名

～開会～

区：本日はお忙しいなか、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。会議を始めさせていただく前に皆さんにご連絡がございます。前回決定いたしました、連絡会の会長であるAさんが体調を崩され、本日欠席との連絡をいただいております。そのため会則第7条に従い、副会長のBさんに議事の進行をお願いしたい、と思います。よろしくお願いたします。

B：よろしくお願いたします。ただ今から多文化共生連絡会全体会を開催いたします。まず始めに今回初めてこの会議に参加された方がいらっしゃいましたら、団体名とお名前、活動内容について簡単に自己紹介をお願いします。

～参加者自己紹介～

【初めて参加された方の自己紹介・活動紹介】

～前回の確認について～

B：まず前回の全体会の内容とその確認について区の方からご説明をお願いいたします。

区：前回の全体会の報告事項を確認の意味をこめまして、簡単にご説明させていただきます。まず、前回皆さまにご討議をいただきました会則につきまして、今回正式なかたちで「新宿区多文化共生連絡会会則」を作成いたしましたので、配布させていただきます。

第1条ではこれまで会の名称を「ネットワーク連絡会」と称していましたが、本年度から「新宿区多文化共生連絡会」という名称にさせていただきました。それから第6条で役員を置くということを決めさせていただきます、会長を〇〇町会のAさまに、副

会長をBさま、Cさまにお願いすることになりました。次に第9条でこの連絡会の進行・調整のために〇〇大学のD先生にファシリテーターとして参加していただくことに決まりました。第10条では、会議を大きく分けまして全体会と分科会を行う、ということの規定いたしました。それから会議の招集に関しましては、会長が招集すると規定させていただきました。以上が、会則についての簡単な説明になります。

分科会についてですが、皆さまのお手元に分科会の希望調査¹結果の資料を配布させていただきました。今回の希望調査に際しましては、重複での希望も可能ということにさせていただきました。その結果が配布しました資料となっております。プラザの在り方検討が単独・重複を含め一番希望が多い結果となっております。本日これから具体的にどういったかたちの分科会を立ち上げていくのか、ということと、どなたがどの分科会に所属するのか、ということについて話し合いをさせていただきたいと思います。

まず5つの分科会についてですが、時間的制約もございますので、5つのテーマを同時並行で行うことは皆さんの負担も相当大きくなると思います。そこで、①多文化共生プラザの在り方検討について、と②多文化共生プラザ周年行事実行委員会の2つについては、共にプラザに関することになると思いますので、これを1つの分科会として検討してはどうか、ということ事務局としてご提案させていただきます。また、③外国にルーツをもつ子どもの学習支援や、④災害時の外国人支援ネットワークについても、⑤地域住民と外国人の交流のなかで検討していくということは可能でしょうか。この点につきましてもご提案させていただきます。

～分科会の検討について～

B：本日は分科会のグループ分けと分科会におけるリーダーの決定、各テーマに沿った話し合いにつきまして、検討したいと思います。この検討につきましては、ファシリテーターのD先生に進行をお願いいたします。

D：分科会については前回皆さんからいろいろな意見がでました。先ほど事務局からも提案がありましたが、①プラザの在り方検討について、と②プラザ周年行事委員会の2つについては、共にプラザに関することなので1つの分科会として纏めて考えたいと思うのですが、この点につきまして皆さんいかがでしょうか。あともう一つ、残りの3つの分科会(③外国にルーツをもつ子どもの学習支援、④災害時の外国人支援ネットワーク、⑤地域住民と外国人の交流)についてですが、考え方として3つそれぞれ独立させて行

¹ 分科会については5つの項目が提案された。①多文化共生プラザの在り方について、②多文化共生プラザ周年行事実行委員会、③外国にルーツをもつ子どもの学習支援について、④災害時の外国人支援ネットワークについて、⑤地域住民と外国人の交流について。

うことも可能ですが、一方であまり分科会の数が多いと会議も当然増えてきて皆さんの負担も大きくなると思うのですが、この点につきましても皆さんいかがでしょうか。

～意見交換～

E：私は④防災時の外国人支援ということでエントリーをしたのですが、エントリーをする段階において、⑤地域住民と外国人の交流というものと切り離すことができないのではないかと考えています。結局地域住民との交流があつてこそ、防災のネットワークが生きてくると思いますので、④防災時の外国人支援については⑤地域住民と外国人の交流と一緒に1つの分科会にしたほうがいいのではないかと、思います。

F：私は③学習支援になるのですが、子どもたちは当然住民という目線で考えていかないといけないと思いますので、先ほどのご意見にもありましたように⑤地域住民との交流と合わせて一つの分科会にしたほうがいいのではないかと、思います。

あと、少し話しが前に戻ってしまうのですが、昨年度までのネットワーク会議ではもう少し参加人数が多かったように思えます。この会議になった途端にどうして参加人数が減ったのか、ということに疑問を感じます。以前のようにたくさんの参加者が出席しているのであれば、もっといろんな方の意見が聞けるのではないかと、思います。出席者の半数が行政の方、というのはこの会議を進行していくうえでどうなのか、と思うところもあるのですが、この点について行政の方はどのように考えているか、ということをお聞かせいただければと思います。

D：大事なご指摘だと思いますので、後ほど検討させていただきます。

G：⑤地域住民と外国人との交流というテーマについては、息の長いテーマになると思います。④災害時の外国人支援ネットワークについては、緊急課題になると思いますので、分科会の一つとして実施してはどうか、と考えます。

C：提案された5つの分科会のうち、③外国にルーツをもつ子どもの学習支援について、④災害時の外国人支援ネットワークについて、⑤地域住民と外国人の交流について、の3つは一つの分科会としてまとめたほうがいいのではないかと、思います。

H：外国にルーツをもつ子どもの学習支援についてですが、具体的に外国にルーツをもつ、とはどのような意味ですか。

F：来日した子どもたちを含めてなんですが、日本語が不十分で学校の授業についていく

ことができない子どもたちをいいます。そのような子どもたちに日本語を含めた学習支援をしていく、ということです。

I：参加者数からみて、5つの分科会を実施するということは困難なだと思います。分科会の数をもう少し限定したほうがいいと思います。

＝結論（分科会の設置について）＝

分科会の設置については、各参加者からさまざまな意見が提案された。そのなかで、現在の参加者数で5つの分科会を設置するということは、一人一人の負担があまりにも大きすぎるのではないかと、という意見が多くだされたため、本年度については、①プラザの在り方検討について、②外国人の学習支援について、③災害時の外国人支援について、の3つの分科会を設置することに決定した（プラザ周年行事実行委員会については廃止、地域住民と外国人との交流については設置された3つの分科会それぞれに含めて実施していく、ということに決定）。

～各分科会のメンバー確定について～

【各分科会に分かれて討議（具体的検討課題の提案、意見交換）】

各分科会における討議内容については、別紙（資料①②）参照。

～各分科会からの報告～

【分科会①：「プラザの在り方検討について」】

B：まずリーダーについては、私Bが、サブリーダーをCさんをお願いすることになりました。第1回の打ち合わせの会を7月27日（火）13時30分からプラザで行いたいと思います。

【分科会②：「外国にルーツをもつ子どもの学習支援について」】

J：リーダーを私Jが担当することになりました。本日の議論として、新宿区では外国にルーツをもつ子どもの居場所が少ない、ということについて話し合いをしました。子どもたちの居場所作りについて、具体的には大久保あたりにそういった場所を構えることができないか、という話しになりました。次回ではより具体的な話し合いをもちたい、と思います。皆さんの希望では平日の午前中がいいとのことでしたので、8月31日の10時からプラザで行いたいと思います。

【分科会③「災害時の外国人支援について」】

G：まずリーダーですが、私Gが担当させていただきます。最初に新宿区内の外国人支援体系について話し合いを行いました。今後は支援のシステムづくりに取り組んでいきたいと思います。次回は8月中に一度開催したいと思っています。

D：ありがとうございました。今後は各分科会がそれぞれ集まり、話し合いを進めていただきまして、9月下旬に予定されています全体会で検討された議題等を発表していただきたいと思います。

最後に参加人数が少ないということで、呼びかけを行うということについて行政の方からご意見をいただきたい、と思います。

区：本日配布させていただきました希望調査結果の資料にも記載されておりますが、重複希望の方も含めまして、分科会への参加希望をだされている方は全部で19名いらっしゃいます。また本日欠席された方のなかに、どの分科会に所属するかまだ回答をいただけていない方もいらっしゃいますので、その方も含めると全部で25名ほどになります。

D：ありがとうございました。他に何かご発言のある方がいらっしゃいましたら、お願いします。

K：他の分科会に参加させていただく、ということは可能でしょうか。

D：はい。今それぞれの分科会の日程をお聞きになったと思いますので、適宜ご参加していただければ、と思います。他に何かありますでしょうか。

D：では本日はここまでにしたい、と思います。

B：みなさん、遅くまでご苦労さまでした。分科会を設けるということで非常に活発な議論ができたと思います。最後に事務局のほうから何か連絡等ありますでしょうか。

区：次回の全体会を9月の末に計画させていただきます。また新宿区のほうから皆様にご連絡させていただきます。

B：それでは本日の全体会はこれで終了とさせていただきます。皆様、ご苦労さまでした。

以上